
赤潮警報解除(ヘテロシグマ アカシオ)

鹿児島県水産技術開発センター
令和元年 5月28日

八代海赤潮警報続報 No. 1 - 2

長島町浦底湾では、ヘテロシグマ アカシオの細胞密度が減少し、着色域も見られなくなっていることから、4月19日付けの赤潮警報(ヘテロシグマ アカシオ)は解除します。

[1] 5月27日の調査結果

長島町浦底湾において、ヘテロシグマ アカシオによる着色域は確認されず、細胞密度は少なく、最高で15細胞/mLでした。

[2] 今後の赤潮発生の予想

浦底湾及び周辺海域の水温は21.0~21.2°Cで、ヘテロシグマ アカシオの増殖の好適範囲内にあるものの細胞密度が減少していることから、本種による赤潮は終息状態にあると考えられます。

各漁協・養殖業者におかれましては、現在も水温等好適な増殖環境であり、競合種の珪藻類がほとんどみられないことから、引き続き定期的な検鏡により細胞密度の把握に努めてください。

【鹿児島県水産技術開発センター調査】

鹿児島水技調査: 2019.5.27(月) 13:03~13:53 小潮

赤潮警報解除

●: 水産技術開発センター調査点

() 内: 0m, 5m, 10m層のヘテロシグマ アカシオの細胞密度(細胞/mL)

・細胞密度の記載がない定点は検出されず

ヘテロシグマ アカシオを最高 15細胞/mL確認

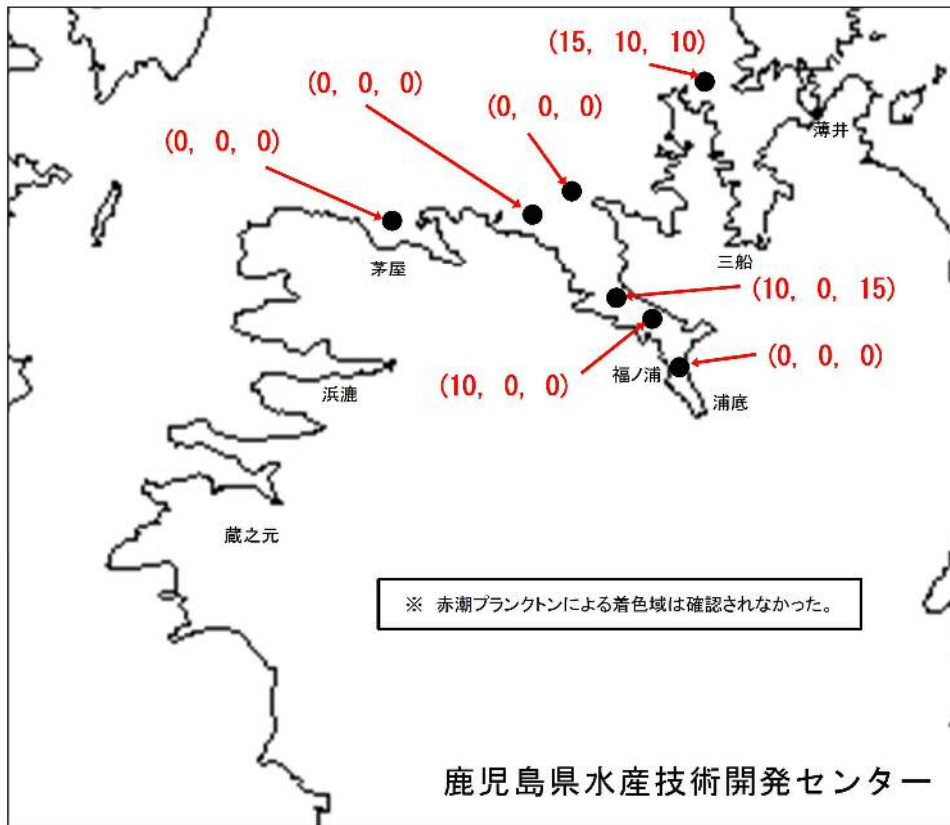
・珪藻類は、調査点の全域で少ない。

表層水温 21.0~21.2°C

表層塩分 33.9~34.2

透明度 3.5~9.5m

※ヘテロシグマ アカシオの特徴
・適水温15-25°C
適塩分はきわめて広い。
・魚毒性が強く、致死細胞密度はブリ類で10万細胞/mL前後、カンパチで3万細胞/mL前後。



赤潮情報(携帯用)
: <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮図鑑(パソコン用)
: <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

